

真和館だより 第7号

風の彩り

東北地方太平洋沖大震災ニーズ調査派遣に参加して

施設管理室長 潮谷賢一郎



全国社会福祉協議会(全国救護施設協議会)から、平成23年4月18日～25日までの間、調査派遣の依頼があり、九州地区の救護施設の職員を代表して参加することになりました。

仕事の内容は、各施設のニーズ調査と厚生労働省から、「東日本大震災通知集」の配布が依頼され、私は宮城県に派遣され、石巻市の南から福島県境まで任せられました。調査を開始し、広範囲の被害に驚きました。その範囲を熊本県に置き換えると八代から千丁・松橋・宇土・熊本市までの範囲になります。結果的には、その間にある100近くの施設を訪問することとなりました。

津波のため平野部はヘドロ・ガレキ・大木が散乱し、車はグチャグチャに折り重なっており、以前の地目が宅地だったのか田畑だったのか全く想像もつかない状況でした。ガレキの山にふさがれ目指す施設へ行けない所もあり、行けたとしても水没全壊であり、施設の人たちは避難しているのか?もしかして?よからぬ想像をせざるを得ない状況で、津波の恐ろしさをあらためて実感した次第であります。

建物が残った施設は、1階が潮に浸かり家財は流され、臭いヘドロを掃除して2階で介護サービスを行い、その上に避難者も受け入れ、炊き出しも行っている有様でした。職員や入所者が行方不明であり、元気に働いておられる職員も家族や親戚が犠牲に遭われておられ、その中で頑張っておられる姿に、心が痛む思いがしました。「生き残った者の試練です」と言いながら、トイレの水や洗濯の水は川の水、灯りは、お寺や葬儀屋さんを駆け回り、集めたロウソクを使っておられました。

被害の少なかった施設では、被害者の入所希望が増えてきたが身分証明書がない為入所ができないとのことでした。ある保育園では、園児の母親の職場が流されたことにより解雇され、園児が保育園を辞めなければならなくなったという話も聞きました。特例は、認められないということでした。

塩釜の魚市場を通った時ガレキの間に半壊した弁当屋があり、そこで弁当を売っておられました。少しでもお役に立てたらと思い弁当を買い、直ぐ、近くの塩釜神社の桜が綺麗と教えてもらい、そこでお昼にしました。

毎日ガレキ・ゴミ・ヘドロを見ていた私にとって、満開の桜を見て、とても心がなごみました。しかし、数百メートル下はガレキ・ヘドロの山、神社の境内は桜が満開でその光景は実に対照的でした。その場で、一日も早い塩釜を始め、宮城の太平洋沿いの復興を心から祈りました。

最後に、「がんばれ塩釜 がんばれ宮城」と私が廻った地域に、エールを送り、この文章を締めさせていただきます。



真和館の基本理念



《基本理念》

- 1 入所者に安心した生活をしていただくため、真心と和の精神で質の高いサービスを提供し続けます。そのために、職員の人間性の向上や能力開発に取り組むと共に、時代の要請に応じた事業を展開していきます。
- 2 入所者の人権を尊重し、入所者や社会から信頼される公明で公正な開かれた施設をめざします。
- 3 働く職員にとって働きやすい、夢のある職場づくりをめざします。

入所者統計



1) 障害区分状況

H23年4月1日現在

	身体障害	知的障害	精神障害	重複障害		生活障害	合計	(内アルコール依存症)
				身体障害と精神障害	知的障害と精神障害			
男	6(1)	7	36(7)	2	6	3	44	(22)
女	1	0	11(7)	1	0	0	11	(3)
計	7(1)	7	47(14)	3	6	3	55	(25)

※身体・知的・精神障害の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※身体障害の()内は内部障害者の数で、精神障害の()内は統合失調症者の数である。

2) 年齢別入所者状況

H23年4月1日現在

	20~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	合計
男	2	1	15	8	10	8	0	44
女	0	0	4	2	0	5	0	11
計	2	1	19	10	10	13	0	55

平均年齢 男)61歳8ヶ月 女)64歳6ヶ月 全体)62歳4ヶ月

退所者状況

	就職	地域	他施設	精神入院	他入院	その他	合計
18年度	0	1	1	3	2	4	11
19年度	0	3	2	3	0	2	10
20年度	0	7	3	3	1	5	19
21年度	0	1	4	4	0	4	13
22年度	0	1	2	2	5	3	13



年間行事計画

4月	みんなの広場開所式 春の日帰り旅行(~5月) 創立記念式典 四季の花見学	8月	夏の日帰り・1泊旅行(~9月)	12月	心みがきの講演会 なかよし祭り 餅つき大会 カラオケ大会
5月	熊救協スポーツ交流会 真和館春のスポーツ大会 バーベキュー大会	9月	心みがきの講演会	1月	初詣 心みがきの講演会 初笑いショー
6月	カラオケ大会 四季の花見学 心きがきの講演会 還暦祝い	10月	真和館秋のスポーツ大会 バーベキュー大会 四季の花見学	2月	植木市見学 のぎく祭り カラオケ大会
7月	ふるさと訪問(お墓参り) ふれあい交流会	11月	西原村老人健康づくりスポーツ大会 秋の日帰り旅行	3月	冬の日帰り・1泊旅行 四季の花見学

平成22年度 クラブ活動報告

★ペン習字の会★

真和館のペン習字クラブは、平成19年10月、日本習字真和館支部として発足しました。現在22名の方が受講中であり、これまでに3名の方がペン習字の初等師範資格を取得されました。毎月の手本をもとに、熱心に練習される人、提出日にあわせてやっと1枚仕上げる人等様々ですが、その人の心身の状態に合わせて自分のペースで頑張っておられます。集中力、継続力を養うのに適したクラブです。

★合唱クラブ★

土・日曜日の11時15分から、童謡・唱歌・懐かしい演歌などを中心に、30分程度、11～12名程度の方が、練習をされています。平成22年度は98回の練習と毎月の誕生会や施設のイベント等で発表したり、特別な行事として、桜見学を兼ねて人吉城址の犬童球溪の記念碑の前で「故郷の廃家・旅愁」を歌いました。また、去年に引き続き、西原村社協主催の「のぎく祭り」で12名のみなさんが日頃の練習の成果を披露しました。



合唱クラブ
西原村社協主催の「のぎく祭り」に参加しました。お揃いの衣装に身を包み、楽しんで歌うことができました。

★心みがきの読書会★

木曜日の10時半から約1時間、こころの糧になるような本を読んでいます。平成22年度は、52回の開催で平均6～7名の方が参加されています。

※参考図書

坂村真民著「一日一言」、中国古典の「呻吟語」
星野富弘「種蒔きもせず」
北川八郎著「あなたを苦から救うお釈迦さまの言葉」
「繁栄の法則」
NHKラジオ深夜便「こころの時代」

★ビデオ鑑賞会★

東館ができる前は土・日曜日、東館ができた11月からは日曜日の午後1時30分から、「真和館ビデオ鑑賞会」と称して内外の様々な映画をビデオで流し、楽しんでいただいています。平成22年度は94回上映し、1回平均7～8名の方が参加されています。なお、ゴールデンウィーク、お盆、年末・年始には特別ビデオ鑑賞会と称して「男はつらいよ」や「釣りバカ日誌」を上映しています。

★自彊術★

ラジオ体操が筋肉を柔らかくする体操とするならば、自彊術は灸や針のように体のポイントを刺激することにより呼吸・血流の流れを良くし、肩こり・腰痛には勿論のこと様々な内蔵疾患にも効果のある体操と云われています。毎朝、10名程度の方が参加され、薬のために動かない体をそれなりに動かしておられ、腰痛がなくなったといわれる方もおられます。

★歌おう(カラオケ)会★

東館ができる前には毎月1回カラオケボックスに行き歌っており、平成22年度は7月・8月・9月に1回ずつ3回実施しました。東館ができた11月からは、毎週土曜日の午後1時30分から、東館の学習室(視聴覚対応)で思いっきり歌っていただいております。20回開催し、平均11名の方が出席しております。



自彊術の会
真和館集会室での自彊術の様子



茶道クラブ
美味しいお茶を立てるために精神統一

★歩こう会(山歩きの会)★

歩こう会は雨の日もできるように、原則パークドームで実施しています。平成22年度は他の行事と重なったりインフルエンザ等のために、15回しか実施できていません。参加人数も減り、平均6名程度の方が参加されています。山歩きの会についても、開設当初の14～15名の参加から、参加できる体力のある方が2名となってしまう、4月の始めに2回実施し、それ以来、開店休業の状態になっています。

★茶道クラブ★

第1、第3の月曜日午後1時30分から、身体障害者裏千家茶道クラブ「もえぎ」の皆さんから3名の方が手ほどきを受けておられます。平成22年度は12回実施しております。なお、館内の皆さんにもお茶をふるまっております。1回に平均24～25名の入所者の方がお茶を飲みに来られ、茶道を通して礼儀作法や人との接し方を学ぶ良い機会となっています。

クラブ活動としては、この他に「手芸クラブ」や「園芸クラブ」があります。

職員研修報告

平成22年度アルコール・薬物関連問題研修会

研修者:西村 宏(支援課 医務班長)

平成23年1月19日～1月21日までの3日間、佐賀県にある独立行政法人 国立病院機構 肥前精神医療センターにて、「アルコール・薬物関連問題研修会」に参加した。全国各地から保健・医療・福祉に携わっている関係者が出席。内容はアルコール依存症治療に積極的に取り組んでおられる、肥前精神医療センターのオリジナルプログラムを題材としたものであった。従来のアルコール依存症治療のような指示的な保健指導と違い、個々の患者の自己決定を重視し、断酒ではなく飲酒量の減量を目標とした「ブリーフ・インターベンション」。また健康被害の危惧される多量飲酒者や、すでに健康を害している多量飲酒者を対象に教材を用いた指導を行い、専門機関に繋げることを目的とした「ハッピープログラム」。今回の研修は自分にとってとても貴重なものとなったが、ハイレベルな内容でもあった。当施設も多数のアルコール依存症の方が入所しており、今後もさらなるアルコール問題対策が重要視されると感じる。



研修者:今池 有香(支援課 介護支援班)

平成23年1月19日～1月21日まで独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センターでのアルコール・薬物関連問題研修会に参加をしました。アルコール依存症患者は約80～427万人いますが、アルコールによる健康被害が危惧される多量飲酒者は約860～1000万人に及びます。また、精神科以外で、アルコール関連疾患の治療のみを繰り返している隠れたアルコール依存症者がまだ多く存在する実態があります。肥前精神医療センターでは、飲酒という行動を否認や抵抗もせず変えていくクライアント中心の行動カウンセリングを実施し、飲酒量低減を目標として短期間で効率的に行うブリーフ・インターベンションを実施しています。ブリーフ・インターベンションとアルコール健康教育、教材使用を合わせてセッションを行っていくHAPPYプログラムも独自で行っている方法であり、実際に行ったロールプレイを通してクライアントの行動変容を感じることができました。自殺既遂者の21パーセントがアルコール問題を抱えているという現状があり、重要な自殺リスクを抱えていることがわかりました。この研修会には、多職種が集まっているため幅広い意見を聴くことができ貴重な研修となりました。今後は、真和館断酒会の継続と依存症者へのケアを行っていくことが断酒の意識向上・維持に繋がると感じました。

平成22年度 決算報告

貸借対照表

平成23年3月31日現在

法人合計

資産の部		負債の部	
科目	当年度末	科目	当年度末
流動資産	31,198,554	流動負債	8,321,449
固定資産	371,529,855	固定負債	57,481,694
建物	334,429,027	負債の部合計	65,803,143
土地	7,881,175	純資産の部	
構築物	2,870,000	基本金	58,351,175
車両運搬具	2,445,093	国庫補助均等特別積立金	190,799,692
器具及び備品	4,978,676	施設整備等積立金	15,000,000
その他固定資産	18,925,884	次期繰越活動収支差額	72,774,399
		(うち当期活動収支差額)	(14,760,325)
		純資産の部合計	336,925,266
資産の部合計	402,728,409	負債及び純資産の部合計	402,728,409

事業活動収支計算書

(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

法人合計

勘定科目	決算
事業活動収入計	190,543,720
事業活動支出計	175,020,422
事業活動収支差額	15,523,298
事業活動外収入計	764,896
事業活動外支出計	1,527,869
事業活動外収支差額	△ 762,973
経常収支差額	14,760,325
特別収入計	0
特別支出計	0
特別収支差額	0
当期活動収支差額	14,760,325
前期繰越活動収支差額	40,014,074
当期末繰越活動収支差額	54,774,399
その他の積立金積立額	12,000,000
次期繰越活動収支差額	72,774,399

創立五周年記念文集

「明日に向かって」

4月28日は真和館の創立記念日です。おかげ様で真和館も今年で丸5年が過ぎ、6年目に入ることになりました。今年も、創立記念日の行事の一環として、「明日に向かって」という創立記念文集を入所者・職員のみなさんに書いて頂きました。真和館での生活で思ったことや感じたことを「私と真和館」というテーマで書いて頂き、その中の一部を掲載させていただきます。

S・Nさん

私は、真和館に入所して約1年半になります。その間に入院生活も送り、入所した頃とは心身共少し変わりました。右目が見えなくなり、足腰も前のように動いてくれません。少し運動しなくてはと気は焦ってもやっぱり体が楽な方に行ってしまう。しかし、毎朝のラジオ体操はするよう努力しています。まあ、気持ちをおおらかに持って、気候も良くなってきましたので、天気の良い日は真和館の周りを2~3周でもよいから歩こうと思っています。また、土・日の合唱クラブ、土曜日の歌おう会などなるべく出て歌った方がストレスの解消にも良いと思っています。また、水曜日の断酒会、木曜日の心みがきの読書会には必ず出るようにしなければなりません。自分のためにも、退屈をしないよう、読書・テレビがありますが、昼はテレビよりウォーキング、読書をして過ごすようにと思っています。

以上、まだ書くこともありますがこのへんで筆を置きます。

T・Kさん

真和館は今年で創立5周年に入りました。面白かった事、又忘れられない様な悲しい出来事もありました。私にとって一番楽しかった事、それに悲しかった事は、一度にやってきました。それは、私の出身地であり、住み慣れた人吉へ行き、人吉城跡を見て、丸岡公園で花見をすることでした。高速を人吉で下りた途端、大粒の涙が止めどなく流れてきました。人に見られたら恥ずかしいからと思い、ハンカチで拭き取りました。故郷はこんなに良いものかと思い出しました。5年ぶりの人吉を脳裏に焼き付けてきました。でも、私は真和館という大きな懐に抱かれ、幸福に暮らしています。故郷も忘れない、真和館も忘れないで残り少ない人生を悔いなく生きていきたいと思えます。

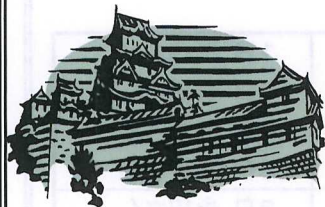
「別れというのは次の世界への希望だ。出口のないトンネルはない。迷うな進め。職員・入所者一丸となって」五周年おめでとうございます。

S・Wさん

真和館5周年記念おめでとうございます。

私は今年の6月1日を迎えるで真和館へ入所して丸5年になります。

私は、アルコール依存症なのに入所して以来一度も強い飲酒欲求が起こらなかったのは、快適で綺麗な設備と山の上だけあって、毎日のすがすがしい空気のおかげだと思ひ、毎日三食の食事が常においしくいただけるためでもあると思って感謝しています。



冬の1泊旅行 (長崎県 雲仙・島原・小浜)

冬の1泊旅行で、雲仙・島原に行きました。1日目は、熊本新港から高速艇で島原へ。島原に着いたのがちょうどお昼だったため、そのままお魚屋さんがされている定食屋さんに行きました。出て来たお昼ごはんは特大盛の海鮮丼！食べ終わった時はみなさん、「もう食べれん」と大きなお腹をさすっておられました。その後、島原城と武家屋敷へ行き、島原の歴史に圧倒されながら見て回りました。見学後、宿泊先のホテルへ。夕食は、これまた食べきれないほどの牛肉盛がついたしゃぶしゃぶで、人によっては「もうしゃぶしゃぶはしばらく食べなくていい」というくらいおいしい夕食を堪能されました。

2日目は、小浜温泉で足湯に漬かった後、千々石展望台、愛野展望台にて絶景を眺め、心身の洗濯が出来ました。多比良港近くの蕎麦屋さんで昼食を頂いたあと、多比良港からフェリーにて長洲港に渡り、真和館へ帰ってきました。2日間で雲仙・島原の観光や美味しい物を満喫できた楽しい旅行となり、参加された入所者さんは皆さん満足されていました。



花見



桜の便りの頃、人吉市の青井阿蘇神社、人吉城跡、山江村丸岡公園に出かけました。

国宝の青井阿蘇神社でお参りし、人吉城跡の犬童球溪記念碑前では(故郷の廃家、旅愁)を参加者全員で歌いました。

人吉市福祉事務所の担当様も一緒に歌っていただき皆大喜びでした。

その後、山江村丸岡公園の桜の木の下でお弁当を広げ楽しい時を過ごしました。



今や水虫は日本国民の五人に一人、爪水虫は十人に一人罹っていると言われていいます。

水虫はいろんな所で感染する機会が多いので、入浴後でも必ず手足と爪を点検して何か異常があれば皮膚科を受診してみてください。

- 予防：①部屋のフローリング、カーペット、畳を頻繁に掃除する。
 ②風呂場の足拭きマットの乾燥をする。
 ③履物を共用しない。
 ④足を清潔にし、よく乾燥させ足の裏、指の股など傷つけない。

水虫に罹ったら根気よく治療することが肝要です。そして、適切な指導のもとで水虫を撲滅させましょう。

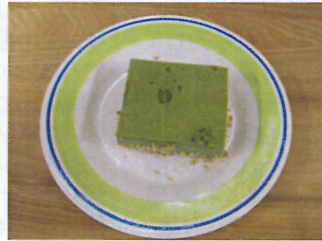


医務室便り

今回は、デザートメニューについて載せたいと思います。手作り抹茶チーズケーキです。非常食用に備蓄してある乾パンを土台に使用しています。また、通常生クリームを使うところを牛乳に替えてエネルギーを抑えています。

★材料(丸型1台分・20cm)★作り方

- ・クリームチーズ200g
 - ・牛乳 200cc
 - ・上白糖 80g
 - ・卵 2個
 - ・抹茶 大1・1/2
 - ・乾パン 100g
 - ・無塩バター 30g
- ①乾パンを粉々に砕き溶かしバターを入れよく混ぜる。
 - ②ケーキ型に①を敷き詰め、上から固める。
 - ③牛乳を火にかけ、上白糖と抹茶を入れよく溶かす。
 - ④クリームチーズはやわらかくしておく。
 - ⑤クリームチーズ、卵、③をミキサーにかける。
※全ての材料がしっかり混ざり合ったのを確認する。
 - ⑥②の土台の上に⑤を流し入れる。
 - ⑦170℃に余熱したオーブンで40分焼く。



調理室便り

6月25日に「真和館第4回のど自慢大会」が開催されました。今回は、ゲストとして、歌手の若桜かおりさんを始め、地域のボランティアの方に来館いただき、素敵な歌声を聴かせていただきました。その後、入所者の方々が、カツラやマントなどさまざまな衣装で登場され、自慢の歌声を披露されました。聞き手は手にボンボンをはめられ、楽しいひと時を過ごされました。大トリは、西原村の芸名「なかチャン」で紅白なみに盛り上がりました。



歌手の若桜かおりさん

地域との交流

お誕生者の案内

7月	7日 石坂(英)さん	11月	1日 雨森さん
	8日 本川さん		16日 野田さん
	11日 福田さん		24日 河野さん
	16日 前川さん		25日 藁井さん
8月	19日 東條さん	12月	3日 永田さん
	24日 本田(武)さん		4日 永江さん
	2日 澤見さん		4日 堺さん
9月	6日 木山さん		5日 植田さん
	30日 加藤さん		8日 西山さん
10月	20日 小田さん		9日 尾崎さん
	28日 松本さん		14日 橋本さん
	4日 飯干さん	21日 大塚さん	
	4日 藤岡さん		
	8日 坂本さん		
	19日 田中さん		

編集後記

梅雨の晴れ間にのぞく太陽は、もう夏の陽ざしを感じさせられ、これから来る厳しい夏に向けてしっかり体調を整えたいと思う次第です。

「風の彩り」も今回で7回目の発行を向かえることができました。みなさんに楽しんで読んでもらえるようにと工夫を凝らしました。

今回は、東日本大震災のボランティアとして、真和館の職員が派遣されました。文面より少しでも現状や思いが伝わるのができればと思います。

ご愛読の程よろしくお願ひ致します。

<編集責任・広報委員>
今池・田上



発行：社会福祉法人 致知会

救護施設 真和館

〒861-2401 熊本県阿蘇郡西原村鳥子3072番地

TEL:(096)279-1121 FAX:(096)279-1122

E-mail: shinwakan@utopia.ocn.ne.jp

HP: http://shinwakan.sakura.ne.jp/

※「風の彩り」に掲載されている写真等は、ご本人の了解を得ております。